資料１

下野市成年後見制度利用促進基本計画の取組状況

基本目標	１　適切な成年後見制度利用につながる地域づくり				
	２　制度利用によって権利を守る体制作り				
	３　関係機関が連携して権利擁護に取り組む仕組みづくり				
成果指標	①　成年後見制度の認知度（内容も知っている割合）	現状値（策定時）	35.1%	目標値	45.0%
	②　成年後見制度を利用したい割合	現状値（策定時）	37.2%	目標値	45.0%

具体的取組

① 権利擁護支援の必要な人の発見・支援

主な事業の状況

事業名	成年後見制度なんでも相談会	担当課	高齢福祉課・社会福祉課・社会福祉協議会
事業概要	・地域包括支援センターや障がい児者相談支援センター、社会福祉協議会に配置されている社会福祉士等が、成年後見制度に関する相談を引き受けます。		
指標	成年後見制度なんでも相談会の相談件数	現状値（策定時） 年９件	目標値 年14件

実績

R3	R4	R5	R6	R7	R8
７件	３件	８件	５件		

前年度の課題と方向性：
・相談内容によっては、社会福祉士の専門性を超えてしまうものがあるため、他職種との連携のあり方を検討していく必要がある。
・相談件数が過去２年と比べて増加している。継続して周知を行い、ニーズの掘り起こしを行っていく。

実施内容：
・令和６年度は成年後見制度なんでも相談会を12回開催し、相談が５件あった。
【開催場所】市役所：１回、ゆうゆう館、６回、南河内地区：２回、国分寺地区：１回、石橋地区：２回
【相談内容】今後に備えて制度内容を詳しく知りたい方が増えている。また認知症の方が所有する不動産や遺産分割についてや精神障がいのある方の制度利用等に関する相談等が多くある。

課題と方向性：
・なんでも相談会の開催日に都合が合わない方も多くいるので、随時相談にて対応している。複雑・高度化している相談内容について、専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士等）や関係職種と協力しながら相談を進めていく。

② 早期対応に向けた相談・対応体制の構築と質の向上

主な事業の状況

事業名	各種相談窓口における申立て支援	担当課	高齢福祉課・社会福祉課・社会福祉協議会
事業概要	・判断能力の低下した身寄りのない方等への市長による申立ての手続きや、低所得者等を対象とした成年後見人等への報酬助成を行います。 ・申立ての手続きに不安がある親族等に対して、申立てに向けた支援を行います。		
指標	市長による成年後見等の審判の申立て件数（５か年累計）	現状値（策定時） 15件	目標値 18件

実績

R3	R4	R5	R6	R7	R8
１件	１件	３件	１件		

前年度の課題と方向性：
・成年後見サポートセンターが開設されたことにより、各相談窓口に寄せられた相談の適切な対応や申立ての必要性など、関係者及び専門職が協働して判断していく仕組みが作られた。今後も継続してその体制を確立し連携を図っていく必要がある。

実施内容：
・令和６年度は１件の市長申立てを実施した。申立て前に三士会(弁護士、司法書士、社会福祉士)を含む多数の関係者が参加する「受任候補者調整会議」を開催し、対象者にとって適切な後見人等の選任に向けた検討を行った。

課題と方向性：
・申立てに至るまでの対応について、各機関の役割分担が上手くいかないところがあり手続きが難航したケースがあった。今後も適切な制度利用に向けて、関係機関との連携を行いつつ、制度利用の必要性の整理・他の社会資源の利用の可能性を探り、対応方法の協議が必要と思われる。

③ 地域連携ネットワークによる成年後見制度利用促進

主な事業の状況

事業名	関係機関の連携・協力に向けた協議会の設置及び開催	担当課	高齢福祉課・社会福祉課・社会福祉協議会
事業概要	・成年後見制度の利用が必要な方が制度を利用できるよう、権利擁護支援の地域連携ネットワーク構築に向けて協議会を設置します。 ・増加が見込まれる成年後見制度利用に備え、法人後見の利用体制強化に努めます。		
指標	地域連携ネットワーク構築に向けた協議会の開催回数	現状値（策定時） 未設置	目標値 年２回

実績

R3	R4	R5	R6	R7	R8
未設置	１回	２回	２回		

前年度の課題と方向性：
・成年後見制度の利用促進に向けて、専門職と関係機関において顔の見える関係性が構築されてきており、課題の共有が図られつつある。今後は、共有した課題について、より具体的な支援に向けた検討ができる場としていきたい。

実施内容：
・令和６年５月及び令和７年３月に「成年後見制度利用促進協議会」を開催した。「下野市成年後見制度利用促進基本計画」の取組状況などを確認したほか、制度の利用促進に関する現状や課題について、活発に意見交換を行い情報共有を図った。

課題と方向性：
・協議会の中で成年後見サポートセンターでの相談事例をあげ、事例検証を通して見えてきた対応の課題について検討を行ったが、今後も、制度の利用促進に関する現状を把握し、課題について共通認識を図っていく。